

笹飾り豆知識

織姫と彦星が1年に1度だけ会える日として親しまれる七夕。一般的に短冊に願い事を書いて笹の葉に飾り付ける風習が有名ですが、これは笹の葉が神様の拠り所と考えられているからです。そのため神様に見えるように短冊や願いを込めた七夕飾りを飾るようになりました。七夕飾りには、それぞれ意味があるのを御存じでしょうか？園では短冊、スイカ、網飾り、貝つなぎなどさまざまな七夕飾りの意味を解説します。それでは早速七夕飾りの意味を見ていきましょう。

五色の短冊

五色は青、赤、黄、白、黒（紫）を指しており、古代中国の陰陽五行説の考え方に由来しています。因みに陰陽五行説とは自然界の全ての物は「木、火、土、金、水」に当てはめて説明できるという考え方です。五色にはそれぞれ意味があり、願い事にあつた色の短冊に願いを書くことで叶いやすくなると言われてしています。

千羽鶴

一般的には平和の象徴やお見舞いなどを目的に飾られることが多い千羽鶴ですが、七夕では「長寿祈願」として飾られます。これは鶴が長寿を象徴しているのに由来します。

輪つなぎ

輪つなぎは、星が連なる天の川を象徴しています。また「つながる」という言葉から連想されるように、人とのつながりや夢が続いていくことを願って飾ります。

吹き流し

吹き流しは、織姫に備えた五色の糸を表しています。そのため、織姫にあやかって裁縫の上達を願って飾られているようです。また短冊と同じ五色が使われていることから、魔除けの意味もあります。

巾着

巾着は金運アップや無駄遣い防止など、お金に関する願いを込めて飾られる七夕飾りです。より金運を高めたい場合には、黄色や白色の紙を使って作った巾着を飾ると良いようです。

くずかご

七夕飾りを作る際に出た紙くずを籠に入れることで、物を粗末にはしないようにといった気持ちを育む意味があります。また整理整頓が上手くなりますようにといった願いを込めることも出来ます。

紙衣(かみこ)

紙衣には、裁縫の上達や着る服に困らないようにといった願いが込められています。また人形にして飾れば厄除けや身代わりの意味もあります。

網飾り

網飾りは、漁師が漁に使う網を表しており、豊作・大漁、食べる物に困らないようにといった願いを込めて飾ります。また網が魚をすくって引き寄せることから幸せを引き寄せる意味もあります。

提灯

七夕飾りにおける提灯には、周囲を明るく照らすことから魔除けの意味があります。また神様が読み易いように、短冊に書かれた願い事を明るく照らすといった意味も込められています。

星飾り

星飾りは、願いが天高く届くようにという意味が込められ、願いが叶うことを祈願する為に飾ります。

スイカ

夏が旬であるスイカには、豊作を願う意味があり、夏野菜として有名なナスも豊作祈願として七夕によく飾られます。

扇つづり

お正月などおめでたい行事で飾られることが多い扇つづり。豊んでいる物を広げる様子から、扇つづりには未来が開いていきますようにといった意味があります。

貝つなぎ

貝つなぎは、海の恵みをたくさん受けられるようにという意味が込められ、網飾りと同様、魚や貝の大量を願う意味があります。

三角つなぎ

三角つなぎには、織姫のように裁縫が上手になるようにという意味があります。これはかつて三角形や四角形の布を使って飾り付けしていたことに由来します。

七夕飾りにはそれぞれ一つひとつに意味があります。今年も園で製作する際は、それぞれの七夕飾りが持つ意味を子供たちに伝え、願いを込めながら取り組めるようにしたいと思います。(K)